



さいなら原発びわこネット総会 (2.19)

2月19日、大津で開催された、さいなら原発・びわこネット第11回総会において、ノーニクス・アジアフォーラム・ジャパンの佐藤大介さんが、「台湾第4原発国民投票

2月19日 さいなら原発びわこネット総会 台湾が国民投票で脱原発の道へ

票で否決、アジア初の脱原発国へー日本の原発輸出とアジアの原発運動ーというテーマで講演されました。佐藤さんは、反原発運動を始めたころの1989年、韓国の運動家から、「原発推進派は活発に国際連帯しているのだから、原発の我々も国際連帯で闘おうと」提案され、ノーニクス・アジアフォーラムを立ち上げました。昨年12月18日、台湾の「第4原発の稼働を問う国民投票」で反対が多数となり、日立、東芝が原子炉を輸出した第4原発の稼働は止められま

した。2025年には原発ゼロとなり、台湾は、アジアで初めての脱原発国となります。このニュースは大いに私たちを励ましました。

この勝利までには40年を超える台湾住民の壮絶かつ粘り強い闘いがありました。地元住民は、漁船を出して、原子炉を輸出してくる日本の船に立ち向かい、日本を出發するときは、佐藤さんたちが船を出して「原発を輸出するな」と抗議行動を展開したそうです。

その他、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、トルコ、韓国など、アジアにおいては、特に福島原発事故後多くの人が立ち上がり、デモなどを繰り返しました。その規模は、日本では考えられないくらいのもので、万単位の人々が結集

した。2025年には原発ゼロとなり、台湾は、アジアで初めての脱原発国となります。このニュースは大いに私たちを励ましました。

この勝利までには40年を超える台湾住民の壮絶かつ粘り強い闘いがありました。地元住民は、漁船を出して、原子炉を輸出してくる日本の船に立ち向かい、日本を出發するときは、佐藤さんたちが船を出して「原発を輸出するな」と抗議行動を展開したそうです。

その他、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、トルコ、韓国など、アジアにおいては、特に福島原発事故後多くの人が立ち上がり、デモなどを繰り返しました。その規模は、日本では考えられないくらいのもので、万単位の人々が結集

**老朽原発
うごかすな！
ニュース
第68号**

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

[連絡先]
090-1965-7102

2月5日、八幡ヒトリデモ

2月5日、八幡市男山中央バス停前に集まった6人で、京阪樟葉（くずは）駅前まで「老朽原発うごかすな！」のヒトリデモを実施。途中と最後の4カ所でリリーススピーチ（写真）を行いました。

あわせて、2月18日には、JR宇治駅前、独りでゲリラ街宣を行いました。



八幡ヒトリデモでアピール



恥ずかしげもなく原発輸出計画を加速しましたが、安全対策費の高騰などですべて頓挫しています。放射能汚染水の海洋投棄を許せば、日本は、事故の被害国から加害国になりかねません。世界の半数の原発が2020〜30年に40年の寿命を迎えます。福島原発事故を経験した私たちが老朽原発再稼働を許したら、世界の原発推進派を喜ばすことになり責任重大です。この1年しっかりと闘わね

するのです。日本は、福島原発事故の後

ばと決意させる佐藤さんの講演でした。

(老朽原発うごかすな！
実行委員会 橋田秀美)

「石三島のヒトリデモ、あなたも？」

「キン関行動」の日もまた「2月11日」

2月11日(金)、夕暮れ迫る中、京都市役所前から京都駅前の関西電力前まで、岸田政権のやりたい放題への原発抗議行動として、ヒトリデモを呼びかけました。

コロナが猛威を振るう中、各自原発の赤い旗を持ち、リュックに「老朽原発このまま廃炉」「岸田政権は核依存内閣」など、録音が流れるハンデイスピーカーを背負い、烏丸通りの西側と東側に分かれて、道行く人に会釈しながら歩きました。

道行く人から会釈を返して

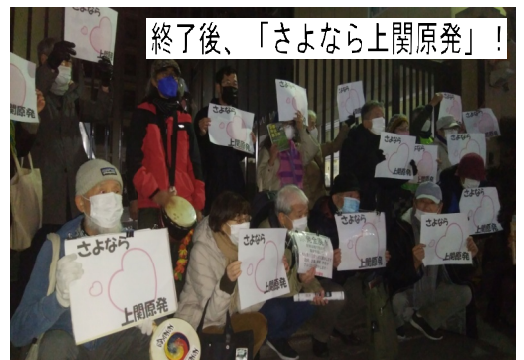


キン関前にヒトリデモ

付けて、「原発事故が起これば、関西一円、中部まで住民が被害を被ります」「避難は不可能」「原発の避難訓練は、政府が

くれたり、「頑張つて！」の声かけ、指を立てる人、追いかけてきて「実家が舞鶴です。チラシをください」という人に出会ったり。コロナであっても委縮せず、楽しく歩くことができました。このヒトリデモは、いつでも、どこでも1人でも始めることができ、足腰も鍛えられ、特に退職した人には一石二鳥ならぬ、一石三鳥です。

ヒトリデモでさらに大きな力を発揮するのは街宣車です。乗用車の上に、「老朽原発このまま廃炉！」のハチマキを付けて、「原発事故が起これば、関西一円、中部まで住民が被害を被ります」「避難は不可能」「原発の避難訓練は、政府が



終了後、「さよなら上関原発」!

(若狭の原発を考える会
木戸恵子)

脱原発市民ウォーク in 滋賀

滋賀のみなさんが、2月12日、第102回目の「老朽原発このまま廃炉！」と市民ウォークを実施。解散地点のびわ湖南岸で、「さよなら上関原発」のプラカードを掲げて、連帯行動を行いました。



最後に上関に連帯し、ポーズ!

コロナ禍に負けず、「老朽原発このまま廃炉」の声を

5・29「原発のない明日を」大集会の成功へ

残念ながらコロナ禍の現状は、依然として厳しい状況にあります。この中で「老朽原発うごかすな！ このまま廃炉！」の闘いは、確かに厳しいものがあり、実行委員会の中にも、入院などの被害が出ています。しかし、木原さんは、以下のように呼びかけています。

「まだまだ、コロナが猛威をふるっています。しかしコロ

ナのために私たちが萎縮すれば、原発推進・核依存の岸田政権の思いのままになります。今まで以上に十分な対策をして「2022年を老朽原発完全廃炉の年」にする闘いに取りましょう！」

5・29「原発のない明日を」大集会の成功に向け、多くの皆さんの実行委員会への結集と、より一層の取り組みをお願いします。